

令和7年度  
全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

# 法人管理事務運営部会 実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所／後援 日本私立中学高等学校連合会

【研究のねらい】

## AI時代の学校におけるDX改革 ～新しい私学の教育と働き方～

激しい変化を見せる社会において、ビジネス界ではデータとデジタル技術を活用してDX化を推進し、効率的な業務の変革を目指す動きが活発化している。教育現場においても、政府がこれからのデジタル等成長分野を支える人材育成強化のため、「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」を掲げ、高等学校における学校DX化を推進している。併せて、校務DXも同時に推進することで多岐にわたる業務の効率化・負担軽減を実現し、教職員は本来の教育活動により集中することができる。その成果はやがて未来を担う子供たちに還元されるだろう。

今年度の当部会では、「校務DX」をテーマとし、2つの講演、研究討議等のプログラムを通して、それぞれの課題等を共有し、学校DX化の現状を捉え、私学における校務DXの拡充とこれからの働き方について考察する場としたい。

【会 期】 令和7年8月8日(金)

【会 場】 **ビジョンセンター品川** (東京都港区高輪 4-10-8 京急第7ビル)  
(JR各線・京急本線「品川駅(高輪口)」徒歩3分)

【募集人数】 60名

【参加対象】 理事・事務局長・事務長等の事務管理職並びに校長・副校長・教頭・教務部長等の教育管理職  
※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

【参加費】 19,000円(昼食費を含む。宿泊費別) ※宿泊は各自でご手配下さい。

【日 程】

9	10	11	12	13	14	15	16
	30 45	05 15	25	15	25 35	45	
受付	開 会 式	基調講演 (80分)	研究討議 I (70分)	昼食 (情報交換会) (50分)	講演 (70分)	研究討議 II (70分)	閉 会 式

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

### 基調講演

〈演 題〉 DXハイスクールの意義とDXによる働き方改革

〈講 師〉 鹿野 利春 京都精華大学メディア表現学部教授

### 講 演

〈演 題〉 DXで実現する校務効率化～デジタル採点・Web出願システム導入による働き方改革～(仮)

〈講 師〉 黒井 徳馬 大日本印刷株式会社  
阿部 貴志 三菱総研DCS株式会社

### 【お問い合わせ】

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UNビル 6階  
「一般財団法人日本私学教育研究所 研修会担当」宛  
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683  
ホームページ <https://www.shigaku.or.jp/>



9:00～ 9:30	◇受 付◇
9:30～ 9:45	◇開 会 式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3. 役員・専門委員紹介 4. 研修会運営方針説明 法人管理事務運営専門委員長 5. 日程説明 6. 閉式
9:45～ 11:05	◇基 調 講 演◇ 司会・講師紹介・謝辞 法人管理事務運営専門委員 演 題 「DX ハイスクールの意義と DX による働き方改革」 講 師 鹿野 利春 京都精華大学メディア表現学部教授
11:15～ 12:25	◇研究討議 I ◇ 【会場】 同 2 階(「202」,「203」)/同 3 階(「302」,「304」,「306」) テーマ 「DX ハイスクールと DX による働き方改革について (基調講演を受けて)」
12:25～ 13:15	◇昼 食◇ (情報交換会)
13:15～ 14:25	◇講 演◇ 司会・講師紹介・謝辞 法人管理事務運営専門委員 演 題 「DX で実現する校務効率化～デジタル採点・Web 出願システム導入による働き方改革～」 (仮) 講 師 黒井 徳馬 大日本印刷株式会社 阿部 貴志 三菱総研 DCS 株式会社
14:35～ 15:45	◇研究討議 II ◇ 【会場】 同 2 階(「202」,「203」)/同 3 階(「302」,「304」,「306」) テーマ 「校務 DX の効果的活用について (講演を受けて)」 ※グループ及び会場は「研究討議 I」と同様
15:45～ 16:00	◇閉 会 式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開式 2. 総括 法人管理事務運営専門委員長 3. 閉会挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

※プログラムは変更になる場合があります。

### 【研究討議の進行について】

5グループに分かれ、小グループ毎に討議を行い、各テーマに沿って参加各校の現状や課題等について意見交換を行います。(小グループでの司会は参加者に依頼します。)

### 【参加者へのお願い】

#### ○研修会場での動画・写真撮影等について

- ・当研修会での主催者記録係・取材メディア以外による録画・録音は禁止します。
- ・講師・発表者等の許可無く研修会の写真・内容等のホームページ・ブログや各種 SNS 等へのアップロードは禁止します。
- ・撮影した動画・写真は当研究所広報活動(刊行物・ホームページ掲載等)や取材メディアの新聞掲載等で使用する場合があります。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が写真や動画に映り込む可能性がありますので、予めご了承下さい。

## 【基調講演 講師プロフィール】

### 鹿野 利春 (かの としはる) 京都精華大学メディア表現学部教授

石川県内の公立高等学校教諭、教育委員会指導主事を経て、2015年4月に文部科学省初等中等教育局教科調査官(高等学校情報科担当)。現行学習指導要領の学習指導要領(情報編)をとりまとめる。また、小学校プログラミング、GIGAスクール構想などの施策にも携わる。

2021年4月に京都精華大学教授として着任。情報科教員養成課程を立ち上げ、情報教育、情報科教員育成を行う。2021年10月から経済産業省の「デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会」の座長を務め、2022年3月に「Society5.0を見据えた中高生等のデジタル関連活動支援の在り方提言」を出す。この提言の内容を社会実装するための組織として、2022年7月に(一般社団法人)デジタル人材共創連盟(以下、デジ連という)を設立し、代表理事を務める。

現在は、文部科学省の教育DX戦略アドバイザー、情報活用能力調査委員を務める傍ら、DXハイスクール事業推進に関して、デジ連の会員企業とともに「DXハイスクールプラン集」を作成して、多くの学校に採用いただいている。また、デジ連主催の全国情報教育コンテストは、DXハイスクール指定校の成果発表の場という位置付けもあり、2回目から文部科学共催となり、入賞者の大阪・関西万博における作品展示も決定している。

その他として、東京学芸大学講師、広島修道大学講師、理化学研究所客員研究員、大阪芸術大学アートサイエンス学科客員教授など。実教出版編集顧問、ライフイズテック顧問、SPRIX顧問、サーティファイ顧問として、情報科の教科書や教材開発にも携わっている。



## 【講師・指導員 (順不同)】

- |       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 鹿野 利春 | 京都精華大学メディア表現学部教授                     |
| 黒井 徳馬 | 大日本印刷株式会社                            |
| 阿部 貴志 | 三菱総研 DCS 株式会社                        |
| 吉田 晋  | 富士見丘中学高等学校理事長・校長                     |
| 平方 邦行 | 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長<br>法人管理事務運営専門委員 |

## 【会場案内図】

- JR各線・京急本線「品川駅(高輪口)」  
徒歩3分

〈住所〉〒108-0074

東京都港区高輪 4-10-8 京急第7ビル

〈TEL〉03-6262-3553



《アクセス》



## 【参加申込方法】

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、以下の申込先に記載のメールアドレスに添付（PDF）またはFAXでお送り下さい。

申込先	一般財団法人日本私学教育研究所 研修会担当 宛	
	メール	<b>kenshukai@shigaku.or.jp</b> （本申込書のPDF データを添付の上、お送り下さい。） ※メールでお申し込みの際は、「件名」に「法人管理事務運営部会申込」と記載して下さい。
	FAX	03-3222-1683

2. 申込は先着順に受け付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

**申込み締切日 7月25日(金) 必着**

3. 申込受付後、「参加確認証」「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」を郵送します。参加費は「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで以下の振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。「参加確認証」は、研修会当日受付にご提出下さい。

**参加費振込期限・キャンセル期限 7月30日(水)**

4. 申込後2週間以内に「参加確認証」等が届かない場合は電話でご連絡下さい。（TEL 03-3222-1621）

## 【変更・キャンセルについて】

必ずFAXで日本私学教育研究所へご連絡下さい。

①変更の場合は、「参加確認証（再発行）」を郵送します。

②キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」をメールまたはFAXで返信します。

※メールでのキャンセル連絡の際は、「件名」に「教育課程部会キャンセル」と記載して下さい。

キャンセルポリシー	
7月30日(水)迄のご連絡	7月31日(木)以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料1,000円を差引いた参加費を返金します。	参加費の返金はできません。 研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

## 【個人情報の取扱いについて】

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用します。

## 【傷害保険について】

当研修会期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

### 令和6年度研修会の様子



メール：[kenshukai@shigaku.or.jp](mailto:kenshukai@shigaku.or.jp)  
 (本申込書のPDFを添付の上、お送り下さい。)  
 FAX：03-3222-1683

※メールにてお申込みの際は、「件名」に「法人管理事務運営部会申込」と記入して下さい。  
 ※FAXにてお申込みの際は送信前にFAX番号をご確認下さい。O(ゼロ)発信のFAX機で送る場合は、「O」を押してから、FAX番号を押して下さい。

令和7年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会  
 法人管理事務運営部会 参加申込書

令和7年\_\_月\_\_日

参加者氏名	(ふりがな) _____		
学校(法人)名		職名	
学校(法人)住所	〒 _____		
	TEL ( )	FAX ( )	
※参加確認証を上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先及び受取人氏名をご記入下さい。			
参加者連絡先	携帯電話番号 ( ) ※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号をご記入下さい。		
メールアドレス	※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。		
基調講演、講演に関する具体的なご質問がありましたらご記入下さい。 【1】基調講演          【2】講演			
「研究討議」のグループ分けのため、下記にご記入下さい。			
(1) 貴校の法人種 該当の番号にOを付けて下さい。	(2) 貴職の職域 該当の英字にOを付けて下さい。「e」の場合は( )にご記入下さい。		
1. 文部科学大臣所轄法人	a. 法人事務	b. 中高事務	c. 法人事務・中高事務兼務
2. 都道府県知事所轄法人	d. 教育管理職	e. その他 ( )	
(3) 討議テーマ「DXハイスクールとDXによる働き方改革について」、「校務DXの効果的活用について」に関して、特に取り上げてほしい具体的なトピック等がありましたらご記入下さい。			
通信欄			

※メールまたはFAXにてお申し込み下さい。  
 ※複数名の参加の場合は、本参加申込書をコピーしてお申込下さい。

受付 No.	
-----------	--